

日本の「知」

2024 年春季

日本の魅力を探求する
東洋大学の専門家による教養講座

東洋大学では、創立者・井上円了の志を受け継ぎ、東洋大学が有する優れた「知」を広く社会に役立てて頂くため、数多くの公開講座や生涯学習プログラムを提供しています。本講座では日本文化、経済、社会問題など様々な日本に関するトピックを取り上げ、東洋大学の専門家が講義をお届けします。日本の文化や社会問題などの背景を知ることは、日本語の理解を深めることにも繋がります。日本の文化について初めて学ぶ方、知識をさらに深めたい方、日本への留学、就職を希望する方など広く受講を歓迎いたします。



井上円了について：<https://www.toyo.ac.jp/about/founder/>



講座概要

講座期間	2024年2月27日(火)、2月28日(水)
講座形式	Webexを用いたオンライン形式
受講対象	N2(JLPT)以上の日本語能力を持つ外国人の方、又は日本人の方
募集コース	2コース
定員	各回1,000名（先着順）
費用	無料
申込期間	2024年1月15日(月)–2月20日(火)
申込方法	TOYO Japanese Language Program サイトよりお申込ください。 URL: https://toyo-jlp.com



- ※ 1コースのみの参加も複数コースの参加も自由に選べます。
- ※ 講座終了後アンケートに回答した方は、講座で使用した資料を閲覧することができます。
- ※ 申し込んだ方全員、後日授業動画を閲覧することができます。
- ※ 全員参加証をダウンロードすることができます。

講師・講座詳細

筑波大学大学院地域研究研究科修了。博士（文学）。専門は社会言語学、語用論、日本語教育。英国の大学で日本語教育に携わったことをきっかけに言語と社会との関係に興味をもった。主に対人配慮（敬語を含む）、モバイルメディアとことば、移動する人々のことばとアイデンティティなどの考察を続けている。主著に『メディアとことば1、2、4』、『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』、『移動とことば1、2』、『モビリティとことばをめぐる挑戦』など。

詳細は <https://researchmap.jp/oxforduk> を参照してください。

日程	回	時間	種別	テーマ
2月27日(火)	01	15:00~16:30	理論	ことば・語学
講座名	ヴィジュアル言語 日本語の面白さ			
講座概要	日本語の書き言葉はひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字の4種類の文字を使用する、世界でも珍しい言語だといわれています。中国から来た漢字を自分たちの用途に合わせて新たに創造したり、絵画のように書いたり言葉遊びをしたり…そんな日本語の表記の多様性と面白さを中心に日本語の魅力を語り、それが現代にも息づいていることを、例を示しながら説明します。			

※非日本語話者の方は、N1程度以上の日本語力が望ましい。



みやけ かずこ
三宅 和子
東洋大学文学部・名誉教授

ミュンヘン大学社会学部卒業。慶應義塾政策・メディア研究科博士後期課程修了。博士(政策・メディア)。慶應義塾大学総合政策学部助教を経て、現在東洋大学経営学部専任講師。専門はメディア・コミュニケーション学。特にデジタルゲームの受容と社会への影響について研究している。

詳細は <https://researchmap.jp/stefan.brueckner> を参照してください。

日程	回	時間	種別	テーマ
2月28日(水)	02	15:00~16:30	理論	情報社会・メディア
講座名	ゲームから学べるものとは？ 学習環境とツールとしてのデジタルゲーム			
講座概要	映画や音楽などのエンターテインメントメディアの中で、デジタルゲームは最大規模の市場を持つ。しかし、ゲームはもはやエンターテインメントのためだけでなく、幅広い場面で多様な目的を果たすために用いられている。本講演では、「学習」に焦点を当て、ゲームが学習のためになぜ、どのように用いられてきたのかを紹介し、ゲームで何を学べるのかについて考える。			



ステファン ブリュックナー
Stefan BRUECKNER

東洋大学経営学部・講師

東洋大学学長からのごあいさつ

東洋大学は東京帝国大学を卒業した若き哲学者井上円了によって、1887年に創立された私立哲学館を前身としています。そこでは、「諸学の基礎は哲学にあり」ということを建学の精神としており、「どんな問題も深く探求し、真理に向かう学び方」が大切にされておりました。また、井上円了は3度の世界一周旅行を通して見聞した様々なことを、人々に伝えるため5,000回以上も日本全国にて講演をしています。その志を受け継ぎ、私たちも東洋大学が有する知的な財産である日本文学や歴史、あるいは社会、日本語等の分野における研究成果をできる限り多くの世界中の人々に届けたいと考えております。これからも少しずつ講座を増やして参りますので、どうぞ皆様ご期待ください。



東洋大学学長 矢口悦子